

農林水産大臣

齋藤 健 様

# 要 請 書

平成29年8月

福 井 県

福井県農業協同組合中央会

# 強い農業の実現に関する要望

## 1 米政策の見直しに伴う支援強化・指導強化

### (1) 所得安定対策の支援強化

水田活用の直接支払交付金・畑作物の直接支払交付金について、水田をフル活用し安定的に農産物を供給していくため、農業者が継続して営農できる交付水準を維持すること。

また、新たな収入保険による補てん後の水準が、生産費(経費)を下回った場合に、生産費との差額を確実に補てんする特例を設けるなど、再生産が可能となる仕組みづくりを行うこと。

### (2) 農業再生協議会に対する支援強化

水田フル活用を推進するため、県、市町の農業再生協議会に対する支援を強化すること。

特に、再生協議会が独自に支援できる水田での園芸産地の育成のための対策を講じること。

### (3) 米の過剰生産に対する国の指導強化

全国が足並みをそろえて、需要に応じた生産を実現し、大幅な価格変動を招かないよう、国はキャラバン等を強力に実施することにより、米の在庫が過剰とならないよう生産に対する指導を強化すること。

### (4) 米産地別のきめ細かな情報提供

産地別の需給、価格情報や在庫など産地と卸業者間の販売動向に関する情報に加え、小売や生産者が直接販売する動向など、より細かな情報を提供すること。

### (5) 米の需要拡大

和食や地産地消の運動展開と、朝食欠食の改善対策や、本県が開発した日本一おいしいお米「いちほまれ」等の地域ブランド米を活用するなど、米の需要拡大につながる支援を強化すること。

## 2 福井米の販売力強化に向けた施設整備に対する支援

福井米の品質向上や、消費者ニーズにあわせきめ細やかな調製・貯蔵ができるよう、産地の収益力強化につながる施設整備に対し、十分な支援をすること。

## 3 競争力のある園芸産地形成への支援

米づくりに頼らない儲かる農業経営を目指し、ミディトマト、青ネギ、イチゴを栽培する大規模園芸施設やリース用のハウス団地の整備について十分な支援をすること。

また、キャベツ、ブロッコリー、タマネギ等の露地野菜について、年間を通した契約栽培を進めるため、農作業機械や貯蔵施設の整備について十分に配慮すること。

## 4 農林水産業を担う多様な人材育成

### (1) 「園芸・林業・水産カレッジ」への支援

農林水産業への新規就業を促進するため、「ふくい園芸カレッジ」「ふくい林業カレッジ」「ふくい水産カレッジ」の専門研修を行う経費について十分な支援を行うこと。

### (2) 新規就農者への総合的支援

農林水産業の多様な人材の確保と育成のため、カレッジ研修生を始め就農・就業希望者に対し、準備段階から就業及び経営確立まで、総合的な支援に要する予算を十分に確保すること。

### (3) 後継者への支援

地域農業の後継者を確保するため、親族が行う農業を継承し、新たに就農する者についても、農業次世代人材投資事業の対象とすること。

## 5 中山間地域の営農継続への支援

### (1) 鳥獣害対策の充実

イノシシ・シカ等の有害鳥獣捕獲の強化や防護柵の整備等を進めるため、鳥獣被害防止総合対策交付金の予算を増額すること。また、移動式解体処理車など捕獲後の個体処理のための新たな技術を実証実験として導入する際は、全額交付金の対象とすること。

さらに、有害捕獲体制の強化を図るため、捕獲従事者の育成・確保について、国自ら率先して対応すること。

### (2) 農作業を応援するサポート体制の支援

農業者の高齢化、離農に伴う耕作放棄地が進まないよう、農作業を応援するサポート体制整備について支援すること。

## 6 農村の資源保全と整備事業の十分な予算措置

### (1) 環境保全型農業直接支払交付金の予算確保

生産者が、安心して環境にやさしい農業を実践するため、環境保全型農業直接支払交付金の十分な予算を確保すること。

### (2) 多面的機能支払交付金の予算確保

地域住民による農地・水路などの地域資源の保全管理や質的向上を図る活動組織の取組みを拡大するとともに地域連携を促進するため、多面的機能支払交付金および推進交付金の十分な予算を確保すること。

### (3) 農業農村整備事業の予算の確保

本県では昭和40年代から積極的に基盤整備に取り組んできており、農業水利施設の老朽化が進行していることから、安定した農業経営や住民の安全安心のための施設の長寿命化対策に必要な予算を十分かつ安定的に確保すること。

## 7 GAP認証取得・更新に係る支援

輸出など農産物の販売拡大につながる国際水準GAPの認証取得を推進するため、指導員の育成や認証取得・更新に係る経費の全額を支援すること。

また、(一財)日本GAP協会に対し地方公共団体等が審査機関となれるよう働きかけること。

平成29年8月24日

福井県知事

西川 一 誠

福井県農業協同組合中央会会長

田波 俊 明

# 林業・水産の活性化に関する要望

## 1 山村の資源保全と整備事業の十分な予算措置

### (1) 森林・山村多面的機能発揮対策交付金の予算確保

里山林景観の維持や侵入竹林の除去など、地域住民等による森林の保全管理等の活動を促進するため、森林・山村多面的機能発揮対策交付金の十分な予算を確保すること。

### (2) 森林整備事業の予算の確保

間伐の推進および間伐材の安定供給を図るため、森林整備事業の遂行に必要な予算を十分かつ安定的に確保すること。

## 2 分収造林事業の日本政策金融公庫資金借入に対する金融措置

分収造林事業における日本政策金融公庫資金の借入返済について、補償金（未償還利子相当分）が不要となる任意繰上償還や利率引下げの措置、あるいは償還金を国が負担する制度の創設など、将来の利息負担を軽減するための抜本的対策を講じること。

## 3 もうかる水産業への転換

### (1) トラウトサーモンの研究支援

水産研究・教育機構、県、県立大学、民間企業が共同で実施しているトラウトサーモンの養殖技術研究について、十分な予算を確保すること。

### (2) 水産学術産業拠点で実施する研究への支援

水産研究・教育機構日本海区水産研究所小浜庁舎において、漁獲管理手法および養殖技術の開発に係る研究を、本県と共同で行うこと。

平成29年8月24日

福井県知事

西川 一 誠